

あぶるま苑改修工事（建築工事）

図面番号	建築図	図面番号		図面番号	
D - 01	図面リスト				
D - 02	仕様書（その1）				
D - 03	仕様書（その2）				
D - 04	仕様書（その3）				
D - 05	仕様書（その4）				
D - 06	仕様書（その5）				
D - 07	仕様書（その6）				
D - 08	現況 配置図・1階平面図				
D - 09	改修後 配置図・1階平面図				
D - 10	現況 2階平面図				
D - 11	現況 断面図				
D - 12	改修後 断面図				
D - 13	現況 塔屋・屋根平面図				
D - 14	改修後 塔屋・屋根平面図				
D - 15	現況 キュービクル廻り平面図・天井伏図				
D - 16	改修後 キュービクル廻り平面図・天井伏図				
D - 17	改修後 キュービクル廻り詳細図				
D - 18	改修後 キュービクル廻り鉄骨詳細図				
D - 19	改修後 屋上冷却塔廻り詳細図				
D - 20	現況 1階天井伏図				
D - 21	改修後 1階天井伏図				

あぶるま苑空調設備改修建築工事設計図		令和 4 年 3 月（全21枚）		Ⅱ 特記仕様		2 騒音・粉じん等の対策		3 アスファルト防水		乾式保護材の材料	
仕様書				Ⅰ 共通仕様		② 監督員事務所等		防水改修工事		⑤ 合成高分子系 ルーフینگシート防水	
1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成 31年版」（以下「改修標仕」という。）により、改修標仕に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」（以下「標仕」という。）による。				2. 改修標仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。 (1)「工事請負契約書」を「魚沼市財務規則（平成16年11月1日 規則第49号）別記（第67条関係）建設工事請負基準約款」（以下「約款」という。）に読み替える。 (2)「監督職員」を「監督員」に読み替える。 (3)「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。		③ 工事用水		4 改質アスファルトシート防水		⑥ 塗膜防水	
1 各章				2 概成工期		④ 工事用電力		5 仮設建物等		7 脱気装置	
3 内部の工事期間等				4 品質計画等		⑤ 仮設建物等		6 足場		7 脱気装置	
5 電気保安技術者				⑥ 養生材の処理等		8 仮設間仕切り		7 養生		7 脱気装置	
7 特別な材料の工法				8 施工数量調査の方法		9 技能士		8 仮設間仕切り		7 脱気装置	
8 施工数量調査の方法				⑨ 技能士		3 施工数量調査		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
10 見本施工				11 化学物質の濃度測定		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
⑫ 完成図等				⑬ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
⑭ 工事完成写真				⑮ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
⑯ 設備工事との取合い				⑰ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
⑰ 完成図等				⑱ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
⑱ 施工図等の取扱				⑲ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
⑲ 完成図等				⑳ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
⑳ 施工図等の取扱				㉑ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㉑ 工事完成写真				㉒ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㉒ 工事施工状況写真				㉓ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㉓ 設備工事との取合い				㉔ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㉔ 完成図等				㉕ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㉕ 施工図等の取扱				㉖ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㉖ 工事完成写真				㉗ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㉗ 工事施工状況写真				㉘ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㉘ 設備工事との取合い				㉙ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㉙ 完成図等				㉚ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㉚ 施工図等の取扱				㉛ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㉛ 工事完成写真				㉜ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㉜ 工事施工状況写真				㉝ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㉝ 設備工事との取合い				㉞ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㉞ 完成図等				㉟ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㉟ 施工図等の取扱				㊱ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊱ 工事完成写真				㊲ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊲ 工事施工状況写真				㊳ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊳ 設備工事との取合い				㊴ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊴ 完成図等				㊵ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊵ 施工図等の取扱				㊶ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊶ 工事完成写真				㊷ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊷ 工事施工状況写真				㊸ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊸ 設備工事との取合い				㊹ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊹ 完成図等				㊺ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊺ 施工図等の取扱				㊻ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊻ 工事完成写真				㊼ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊼ 工事施工状況写真				㊽ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊽ 設備工事との取合い				㊾ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊾ 完成図等				㊿ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊿ 施工図等の取扱				㊱ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊱ 工事完成写真				㊲ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊲ 工事施工状況写真				㊳ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊳ 設備工事との取合い				㊴ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊴ 完成図等				㊵ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊵ 施工図等の取扱				㊶ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊶ 工事完成写真				㊷ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊷ 工事施工状況写真				㊸ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊸ 設備工事との取合い				㊹ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊹ 完成図等				㊺ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊺ 施工図等の取扱				㊻ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊻ 工事完成写真				㊼ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊼ 工事施工状況写真				㊽ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊽ 設備工事との取合い				㊾ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊾ 完成図等				㊿ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊿ 施工図等の取扱				㊱ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊱ 工事完成写真				㊲ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊲ 工事施工状況写真				㊳ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊳ 設備工事との取合い				㊴ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊴ 完成図等				㊵ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊵ 施工図等の取扱				㊶ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊶ 工事完成写真				㊷ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊷ 工事施工状況写真				㊸ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊸ 設備工事との取合い				㊹ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊹ 完成図等				㊺ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊺ 施工図等の取扱				㊻ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊻ 工事完成写真				㊼ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊼ 工事施工状況写真				㊽ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊽ 設備工事との取合い				㊾ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊾ 完成図等				㊿ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊿ 施工図等の取扱				㊱ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊱ 工事完成写真				㊲ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊲ 工事施工状況写真				㊳ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊳ 設備工事との取合い				㊴ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊴ 完成図等				㊵ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊵ 施工図等の取扱				㊶ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊶ 工事完成写真				㊷ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊷ 工事施工状況写真				㊸ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊸ 設備工事との取合い				㊹ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊹ 完成図等				㊺ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊺ 施工図等の取扱				㊻ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊻ 工事完成写真				㊼ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊼ 工事施工状況写真				㊽ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊽ 設備工事との取合い				㊾ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊾ 完成図等				㊿ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊿ 施工図等の取扱				㊱ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊱ 工事完成写真				㊲ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊲ 工事施工状況写真				㊳ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊳ 設備工事との取合い				㊴ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊴ 完成図等				㊵ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊵ 施工図等の取扱				㊶ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊶ 工事完成写真				㊷ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊷ 工事施工状況写真				㊸ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊸ 設備工事との取合い				㊹ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊹ 完成図等				㊺ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊺ 施工図等の取扱				㊻ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊻ 工事完成写真				㊼ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊼ 工事施工状況写真				㊽ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊽ 設備工事との取合い				㊾ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊾ 完成図等				㊿ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊿ 施工図等の取扱				㊱ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊱ 工事完成写真				㊲ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊲ 工事施工状況写真				㊳ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊳ 設備工事との取合い				㊴ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊴ 完成図等				㊵ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊵ 施工図等の取扱				㊶ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊶ 工事完成写真				㊷ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊷ 工事施工状況写真				㊸ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊸ 設備工事との取合い				㊹ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊹ 完成図等				㊺ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊺ 施工図等の取扱				㊻ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊻ 工事完成写真				㊼ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊼ 工事施工状況写真				㊽ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊽ 設備工事との取合い				㊾ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊾ 完成図等				㊿ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊿ 施工図等の取扱				㊱ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊱ 工事完成写真				㊲ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊲ 工事施工状況写真				㊳ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊳ 設備工事との取合い				㊴ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊴ 完成図等				㊵ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊵ 施工図等の取扱				㊶ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊶ 工事完成写真				㊷ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊷ 工事施工状況写真				㊸ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊸ 設備工事との取合い				㊹ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊹ 完成図等				㊺ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊺ 施工図等の取扱				㊻ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊻ 工事完成写真				㊼ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊼ 工事施工状況写真				㊽ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊽ 設備工事との取合い				㊾ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊾ 完成図等				㊿ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊿ 施工図等の取扱				㊱ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊱ 工事完成写真				㊲ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊲ 工事施工状況写真				㊳ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊳ 設備工事との取合い				㊴ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊴ 完成図等				㊵ 施工図等の取扱		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊵ 施工図等の取扱				㊶ 工事完成写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊶ 工事完成写真				㊷ 工事施工状況写真		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊷ 工事施工状況写真				㊸ 設備工事との取合い		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	
㊸ 設備工事との取合い				㊹ 完成図等		3 アスファルト防水		2 防水の保証等		⑥ 塗膜防水	







耐震改修工事	1	コンクリートの類別及び強度、品質	レディーミクストコンクリートの類別 ※Ⅰ類　Ⅱ類 普通コンクリートの設計基準強度 ※普通コンクリートの強度は構造標準図による コンクリートの仕上りの平たんさ　・a種　・b種　・c種	[8. 1. 3][表8. 1. 1] [8. 1. 3][8. 1. 4] [8. 1. 4][表8. 1. 5]	耐震改修工事	14	連続繊維シート巻き	材料・形状 採用した工法の規定を満足するもの 材質 引張り強度(含浸硬化後) ・2500N/mm <sup>2</sup> 以上 ・3000N/mm <sup>2</sup> 以上 ヤング係数(含浸硬化後) ・2.35×10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup> 程度 ・2.00×10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup> 以上 工法 ※(一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 ・ 下地調整 仕上げモルタルの除去　※行う　・行わない 柱及び梁の隅角部の面取り ※工法の評価内容による ・ 継手工法 継手方法　呼び名(mm)　適用箇所 ・ガス圧接 ・重ね継手 ・ 柱の配筋 帯筋の組立ての形 ※各部配筋参考図2.2による 種別　※H形　・W・I形 ・図示	[8. 2. 13] [8. 2. 13] [8. 24. 6] [8. 3. 4]	27	耐火被覆	<table><tr><th colspan="2">種 別</th><th>所要性能及び適用構造区分</th></tr><tr><td rowspan="4">・耐火材吹付け</td><td>・乾式吹付けロックール</td><td></td></tr><tr><td>・半乾式吹付けロックール</td><td></td></tr><tr><td>・湿式ロックール</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・耐火板張り</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・耐火材巻付け</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・5mm張りモルタル塗り</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・耐火塗料</td><td></td></tr></table> 耐火性能 ※建築基準法の規定に基づく所定の性能を有すること。	種 別		所要性能及び適用構造区分	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックール		・半乾式吹付けロックール		・湿式ロックール		・		・耐火板張り			・耐火材巻付け			・5mm張りモルタル塗り			・耐火塗料			[8. 18. 2] [8. 18. 3]	環境配慮改修工事	1	石綿含有建材の処理	※建築物の解体工事、アスベスト除去について、以下の基準を適用する。 ・建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にはく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針(平成26年3月31日付け　技術上の指針公示第21号) ・石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル[2.20版]　平成30年3月(厚生労働省) ・建築物の解体工事における石綿粉じんへのばく露防止マニュアル(建設労働災害防止協会) ・建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル2014.6(環境省水・大気環境局大気環境課) ・石綿含有仕上塗材の除去等作業における石綿飛散防止対策について(平成29年5月30日付け　環水大大発第1705301号)																				
	種 別		所要性能及び適用構造区分																																																										
	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックール																																																											
		・半乾式吹付けロックール																																																											
		・湿式ロックール																																																											
		・																																																											
	・耐火板張り																																																												
	・耐火材巻付け																																																												
	・5mm張りモルタル塗り																																																												
	・耐火塗料																																																												
	2	鉄骨製作工場	・監督員の承諾する製作工場 ・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた　㈱日本鉄骨評価センター又は　㈱全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「　グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場	[8. 1. 5]		28	溶融亜鉛メッキ高力ボルト接合	摩擦面の処理 ※プラスト処理 ・りん酸塩処理	[8. 20. 5]	2	石綿含有吹付け材の除去	除去工法 ※改修標仕9.1.3による。	[9. 1. 3]																																																
3	施工管理技術者	※適用する	[8. 1. 6]	29	既存コンクリート面の目荒し	目荒らしの程度 ※柱・梁面　打継ぎ面の15～30%程度 ※増打ち壁増設　既存壁打継ぎ面の10～15%程度 ※平均深さ2～5mm(最大5～7mm)程度の凹部を施す ・監督員の指示による	[8. 21. 3]	3	石綿含有保温材等の除去	除去工法 ※粉じん飛散抑制剤等による湿潤化の後、手ばらしで行う。 ・掻き落し・破砕・切断等による除去を行う。 ※9.1.3[石綿含有吹付け材の除去]により、作業場を隔離する。	[9. 1. 4]																																																		
4	鉄筋の種類	<table><tr><th colspan="2">種類の記号</th><th>呼　　び　　名　(mm)</th></tr><tr><td>・SD295A</td><td></td><td>・D16以下</td></tr><tr><td>・SD345</td><td></td><td>・D19以上</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table>	種類の記号		呼　　び　　名　(mm)	・SD295A		・D16以下	・SD345		・D19以上	・			[8. 2. 1][表8. 2. 1]	30	増設・補強工事のコンクリートの打込み	工法の種類 ※流し込み工法 ・圧入工法	[8. 21. 8][8. 23. 5]	4	石綿含有成形板の除去	養生等 建物内部で除去を行う場合、除去作業場所と他の場所を隔てるため、開閉部位(出入口、換気口、窓等)は閉とし、ガラスの破損箇所等で開となっている部位を養生シート等で塞ぐ。 その他 「建築物の解体等」に掛る石綿飛散防止対策マニュアル2014.6」や「公共建築改修標準仕様書　平成28年版(統一基準)」による。 石綿含有成形板の種類 <table><tr><th>材　料　名</th><th>使　用　部　位</th><th>厚さ(mm)</th><th>備　考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※上記以外にアスベスト含有が疑われる建材があった場合は、速やかに監督員と協議すること。 非飛散性アスベスト含有建材(レベル3)の対応について 工事中にレベル3建材を確認した場合、施工業者は工事監理者に報告するとともに、速やかにその旨を工事発注者に対して連絡すること。	材　料　名	使　用　部　位	厚さ(mm)	備　考																	[9. 1. 5]																		
種類の記号		呼　　び　　名　(mm)																																																											
・SD295A		・D16以下																																																											
・SD345		・D19以上																																																											
・																																																													
材　料　名	使　用　部　位	厚さ(mm)	備　考																																																										
5	溶接金網	網目の形状、寸法及び鉄線の径 網目の形状、寸法(たて×よこ)　鉄線の径または呼び(mm) ※100×100　※6.0 ・	[8. 2. 2]	31	柱補強	溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 柱頭柱脚の隙間部間の型枠 ※ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む　・図示	[8. 23. 5]	5	除去した石綿等の処分等	除去した石綿等の処理 ※各種廃棄物分類に応じた最終処分場で埋立処分 ・中間処理 ・アスベストの中間処理に適する溶融施設において溶融処理 ・大臣認定を受けた無害化処理施設において無害化処理	[9. 1. 3][9. 1. 4][9. 1. 5]																																																		
6	あと施工アツカの材料	あと施工アツカの材料 ・金属拡張アツカ ※接着系アツカ　かつモルの種類　※有機系	[8. 2. 4]	32	スリットの施工	幅　※30mm～50mm程度　・　長さ　※300mm以上 形状　※完全スリット(※既存鉄筋切断　・既存鉄筋を　本残す) ・部分スリット(既存コンクリートを厚さ50mm程度残す) 撤去部の補修　・撤去材と同一材 ※無収縮モルタル(圧縮強度30N/mm <sup>2</sup> 以上)	[8. 25. 2]	6	断熱アツファルト防水改修	<table><tr><th>工法の種類</th><th>施　工　箇　所</th></tr><tr><td>・P1B1</td><td></td></tr><tr><td>・P2A1</td><td></td></tr><tr><td>・POD1</td><td></td></tr><tr><td>・T1B1</td><td></td></tr><tr><td>・M3D1</td><td></td></tr><tr><td>・M4D1</td><td></td></tr></table>	工法の種類	施　工　箇　所	・P1B1		・P2A1		・POD1		・T1B1		・M3D1		・M4D1		[9. 2. 3]																																				
工法の種類	施　工　箇　所																																																												
・P1B1																																																													
・P2A1																																																													
・POD1																																																													
・T1B1																																																													
・M3D1																																																													
・M4D1																																																													
7	セメントの種類	※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、沈降セメントA種又はライオンセメントA種 ・普通エコセメント ・高炉セメントB種(　) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。 <table><tr><td>水和熱</td><td>7 d</td><td>352J/g以下</td></tr><tr><td></td><td>28 d</td><td>402J/g以下</td></tr></table>	水和熱	7 d	352J/g以下		28 d	402J/g以下	[8. 2. 5][表8. 2. 3]	9	1	石綿含有建材の処理	施工調査 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する 調査範囲　・　・図示 貸与資料　・ 分析による石綿含有建材の調査　・行う　・行わない 分析方法 <table><tr><th rowspan="2">材　料　名</th><th colspan="2">定性分析方法</th><th colspan="2">定量分析方法</th></tr><tr><td>・JIS A 1481-1</td><td></td><td>・JIS A 1481-3</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・JIS A 1481-2</td><td></td><td>・JIS A 1481-4</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>箇所</td><td>・</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>箇所</td><td>・</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>箇所</td><td>・</td><td>箇所</td></tr></table> その他、石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(厚生労働省)による	材　料　名	定性分析方法		定量分析方法		・JIS A 1481-1		・JIS A 1481-3			・JIS A 1481-2		・JIS A 1481-4			・	箇所	・	箇所		・	箇所	・	箇所		・	箇所	・	箇所	[9. 1. 1]	7	外断熱改修	<table><tr><th>外装材の種類</th><th>施　工　箇　所</th><th>防火性能</th><th>備　考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 既存外壁材の撤去　・行う　・行わない 下地面の清掃　・行う　・行わない 断熱材を設置する部分の下地に欠損部がある場合 ※4.1.4[外壁改修工法の種類]による 建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を 改修標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。 不陸等の下地調整　・ 断熱材の施工　・断熱材製造所の仕様による　・ 外装材の施工　・外装材製造所の仕様による　・ 通気層　・設ける(厚さ：　mm)　・設けない 外装材の外壁への取付け　・図示　・	外装材の種類	施　工　箇　所	防火性能	備　考									[9. 2. 2]		
水和熱	7 d	352J/g以下																																																											
	28 d	402J/g以下																																																											
材　料　名	定性分析方法		定量分析方法																																																										
	・JIS A 1481-1		・JIS A 1481-3																																																										
	・JIS A 1481-2		・JIS A 1481-4																																																										
	・	箇所	・	箇所																																																									
	・	箇所	・	箇所																																																									
	・	箇所	・	箇所																																																									
外装材の種類	施　工　箇　所	防火性能	備　考																																																										
8	骨材の品質	7kg引裂反応性による区分 ・A ※B(コンクリート中の7kg引総量Rt=3.0kg/m <sup>3</sup> )	[8. 2. 5]	9	断熱・防露改修	断熱材打込み工法の材料 ・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材　・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・押出法ポリスチレンフォーム断熱材　・フェノールフォーム断熱材　・ポリイソ氰レート断熱材 断熱材現場発泡工法の材料 ※A種1又はA種1Hとし、難燃性を有するものとする。吹付け厚さ　mm	[9. 5. 2] [9. 5. 3]	10	屋上緑化改修	工法 ※「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日付　建設省告示第1458号)による風圧力に対応した固定工法を改修標仕1.2.2[施工計画]で定める。 かん水装置　・設置する(図示による)　・設置しない 既存保護層等の撤去　・行う　・行わない 枯補償及び枯損処理 ※引渡しの日から1年間　・　年間　・　年　月　日まで	[9. 6. 3] [9. 6. 3] [9. 6. 3] [9. 6. 4]																																																		
9	混和材料の種類	※混和剤 ・混和材(※JIS A 6202による膨脹材　・　)	[8. 2. 5]	10	2	鉄骨の工作図	高力ボルト及び普通ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※建築工事監理指針による　・図示	[8. 13. 2]	11	鋼材	鋼材の材質 種類の記号　適用箇所　規格等 ・SS400　※JIS規格による ・SN400B　※JIS規格による ・ ※JIS規格による	[8. 2. 8][表8. 2. 7]	12	高力ボルト	高力ボルトの適用 ※トルク型高力ボルト　・JIS形高力ボルト　・溶融亜鉛めっき高力ボルト	[8. 2. 9]	12	高力ボルト	高力ボルトの適用 ※トルク型高力ボルト　・JIS形高力ボルト　・溶融亜鉛めっき高力ボルト	[8. 2. 9]																																									
10	型枠	スリーブの材料、規格等　・図示	[8. 2. 7]	13	モルタル及びグラウト材	柱底均しモルタル ※無収縮モルタル ・ グラウト材 ※無収縮グラウト材 ※プレミックス形　・現場調合形 無収縮モルタルの品質及び試験方法 ※圧縮強度試験は、公的機関で行う。 ブリーディング　・練混ぜ2時間後のブリーディング率：2.0%以下 無収縮性　・材齢　7日：収縮しない 圧縮強度　・材齢　3日：　N/mm <sup>2</sup> 以上 ・材齢28日：　N/mm <sup>2</sup> 以上 コンスタンシー　・JIS A 1132(コンクリートの強度試験用供試体の作り方)に準じて、直径50mm、高さ100mmの円柱とする。圧縮試験は、JIS A 1108(圧縮強度の試験方法)により行う。 ・図示による。	[8. 2. 12] [8. 2. 12] [表8. 2. 10]	13	モルタル及びグラウト材	柱底均しモルタル ※無収縮モルタル ・ グラウト材 ※無収縮グラウト材 ※プレミックス形　・現場調合形 無収縮モルタルの品質及び試験方法 ※圧縮強度試験は、公的機関で行う。 ブリーディング　・練混ぜ2時間後のブリーディング率：2.0%以下 無収縮性　・材齢　7日：収縮しない 圧縮強度　・材齢　3日：　N/mm <sup>2</sup> 以上 ・材齢28日：　N/mm <sup>2</sup> 以上 コンスタンシー　・JIS A 1132(コンクリートの強度試験用供試体の作り方)に準じて、直径50mm、高さ100mmの円柱とする。圧縮試験は、JIS A 1108(圧縮強度の試験方法)により行う。 ・図示による。	[8. 2. 12] [8. 2. 12] [表8. 2. 10]																																																		
11	鋼材	鋼材の材質 種類の記号　適用箇所　規格等 ・SS400　※JIS規格による ・SN400B　※JIS規格による ・ ※JIS規格による	[8. 2. 8][表8. 2. 7]	14	連続繊維シート巻き	材料・形状 採用した工法の規定を満足するもの 材質 引張り強度(含浸硬化後) ・2500N/mm <sup>2</sup> 以上 ・3000N/mm <sup>2</sup> 以上 ヤング係数(含浸硬化後) ・2.35×10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup> 程度 ・2.00×10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup> 以上 工法 ※(一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 ・ 下地調整 仕上げモルタルの除去　※行う　・行わない 柱及び梁の隅角部の面取り ※工法の評価内容による ・ 継手工法 継手方法　呼び名(mm)　適用箇所 ・ガス圧接 ・重ね継手 ・ 柱の配筋 帯筋の組立ての形 ※各部配筋参考図2.2による 種別　※H形　・W・I形 ・図示	[8. 2. 13] [8. 2. 13] [8. 24. 6] [8. 3. 4]	15	鉄筋の継手	継手工法 継手方法　呼び名(mm)　適用箇所 ・ガス圧接 ・重ね継手 ・ 柱の配筋 帯筋の組立ての形 ※各部配筋参考図2.2による 種別　※H形　・W・I形 ・図示	[8. 3. 4]	16	鉄筋の最小かぶり厚さ	最小かぶり厚さは、目地底から算定する。 ・耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 <table><tr><th>施　工　箇　所</th><th>改修標仕表8.3.6の値に加える寸法(mm)</th></tr><tr><td>柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面</td><td>※10　・</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	施　工　箇　所	改修標仕表8.3.6の値に加える寸法(mm)	柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※10　・			[8. 3. 5][表8. 3. 6]	17	打増し壁に用いるジョイント	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのジョイントの種類　※「6　あと施工アツカの材料」による 間隔(mm)　※500×500　・図示	[8. 3. 7]	18	圧接完了後の試験	圧接部の確認試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験	[8. 3. 8]	19	あと施工アツカの施工	穿孔前の埋込み配管等の探査方法 ※電磁波レーダー法 ・電磁誘導法 ・X線法	[8. 12. 4]	20	あと施工アツカの施工確認試験	※全数の打音検査 ※引抜き耐力試験 範囲　※改修標仕8.12.7による ・補強壁1枚あたり3本(梁下・柱・床(または梁上)各1本)以上 確認強度 ※あと施工アツカの確認強度は構造標準図による	[8. 12. 7]	21	鉄骨の工作図	高力ボルト及び普通ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※建築工事監理指針による　・図示	[8. 13. 2]	22	鉄骨工作仮組	※行う	[8. 13. 10]	23	開先形状	※鉄骨工事技術指針による　・図示	[8. 15. 4]	24	スカラップ	※図示による　・監督員の指示による	[8. 15. 7]	25	溶接部の試験	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う	[8. 15. 12]	26	錆止め塗料	※工場1回塗り、工事現場1回塗り ・工場2回塗り 耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う(塗装範囲：※図示　・　塗料種別：　) ※行わない 上記以外　※改修標仕8.17.2(1)による　・図示 塗料種別　※A種　・B種	[8. 17. 2]～[8. 17. 4]
施　工　箇　所	改修標仕表8.3.6の値に加える寸法(mm)																																																												
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※10　・																																																												

10追加特記

1公共事業労務費調査への協力

2工事監理方式

3適用基準等

4総合図

5工事成績評定

6工事区分表

7発生材の処理等

8建設発生土の搬出

※協力する

共同監理・有り・無し

・営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室）  
※工事運行マニュアル

※作成する

※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。  
（様式等は、工事運行マニュアルによる。）

注）原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項	目	建	電	空	衛	昇	備	考
躯体関係								
1.RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリフ材及び取付け補強を要する型枠材及び取付け	○	○	○	○	○		
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○		防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○	○		防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の補強	○						
	スリフ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	○		
2.S・SRC造・はり貫通口	S・SRC造貫通鋼管鋼管スリフ・補強	○						
	使用されたスリフの穴埋め	○	○	○	○	○		
	予備スリフの穴埋め	○	○	○	○	○		
3.設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○						
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）	○	○	○	○			
	屋外・屋上の基礎	○						
	屋上基礎で押さえコンにアカーしない軽微なもの	○	○	○				
	機器取付け用アカー・架台	○	○	○	○			
	屋内受水タンク用の基礎	○						
仕上げ関係								
軽鉄天井・壁下地	補強を用するボルトの切り込み及び下地の補強	○						
	補強を要しないボルトの切り込み		○	○	○			
	開口部の墨出し		○	○	○			
電気関係								
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）			○	○			二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線	○						一次側
	機器付属操作スイッチの取付及び渡り配管配線			○	○			
その他（工事区分を特に間違えやすい項目）								
天井材	取外し再取付（各種配管配線作業用）	○	△	△	△			小規模は要協議
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△			小規模は要協議
流し台、ガス台		○						
便所手洗いカウンター		○						衛生陶器は衛生設備
洗面化粧台					○			
ガス漏れ警報器					○			
24h換気扇	機器納入							取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○					機器納入は衛生設備
湯沸器	機器納入				○			取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○					機器納入は衛生設備

7発生材の処理等

1再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考
再生クラッシュラン	C-40		桜井石材/魚沼市下倉	

2建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称	
工事場所／施設所在地	
連絡先	
仮置場所の有無	
備考	

10追加特記

4建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	ブロック、モルタルくず	金属くず	廃プラ、廃ボード類、廃フレキ
処理施設名称	榎桜井石材	(有)渡邊鋼鉄店	魚沼環境機
施設所在地	魚沼市中島1434	魚沼市四日町381-1	魚沼市青島761-1
連絡先	025-792-6140	025-792-6140	025-792-1895
備考			

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5建築リサイクル法の対象建設工事は工事の規模に関係なくすべてを対象とする。発注者への説明、書面の交付、届出の提出等を行う建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7再生資源利用計画書の必要の有無（有）実施書は完了時にFで提出すること再生資源利用促進計画書の必要の有無（有）実施書は完了時にFで提出すること協議について建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

8化学物質の濃度測定

1)測定時期

測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空調和設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。

測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時とする。

※測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、6)の措置を講じる時間を見込むこと。

2)測定対象物質

※ホルムアルデヒド（指定値0.08ppm以下）

※トルエン（指定値0.07ppm以下）

※キシレン（指定値0.05ppm以下）

※エチルベンゼン（指定値0.88ppm以下）

※スチレン（指定値0.05ppm以下）

・パラジクロロベンゼン（指定値0.04ppm以下）

3)測定室

・室（測定箇所箇所）

・室（測定箇所箇所）

・室（測定箇所箇所）

・室（測定箇所箇所）

4)測定方法

測定機器

※バッシブ型採取機器・監督員の承諾する機器

測定要領（バッシブ型測定法の場合）

※測定前の措置

測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉（造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。）を開放し、30分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。

※測定は次のイ～ハによる。

イ上記測定前の措置の状態のまま測定する。

ロ測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう10時30分から18時30分までの時間帯で測定する。

ハ測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。

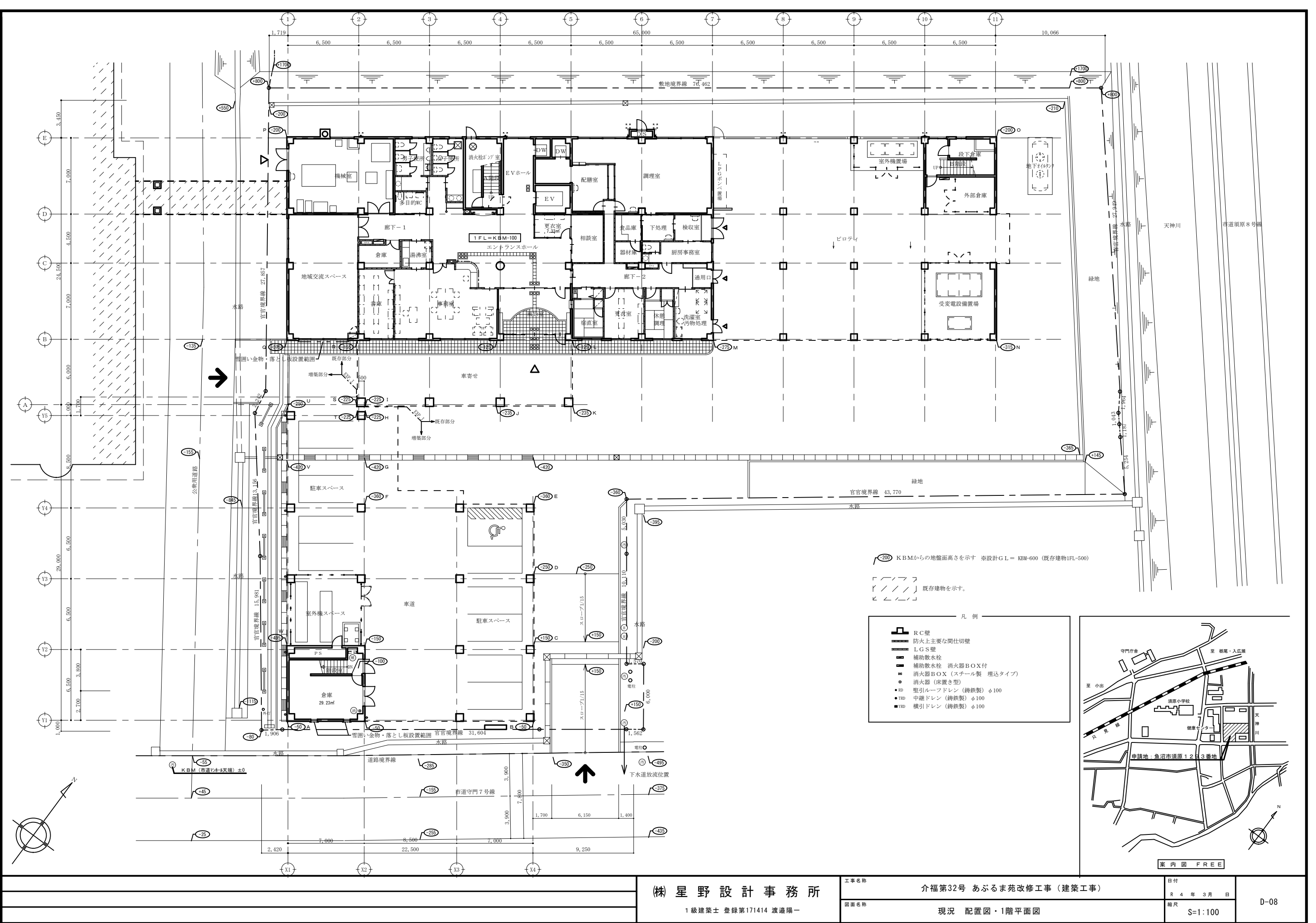
※その他

上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。

※測定結果の分析

測定対象化学





(株) 星野設計事務所

1級建築士 登録第171414 渡邊陽一

工事名称 介第32号 あぶるま苑改修工事（建築工事）

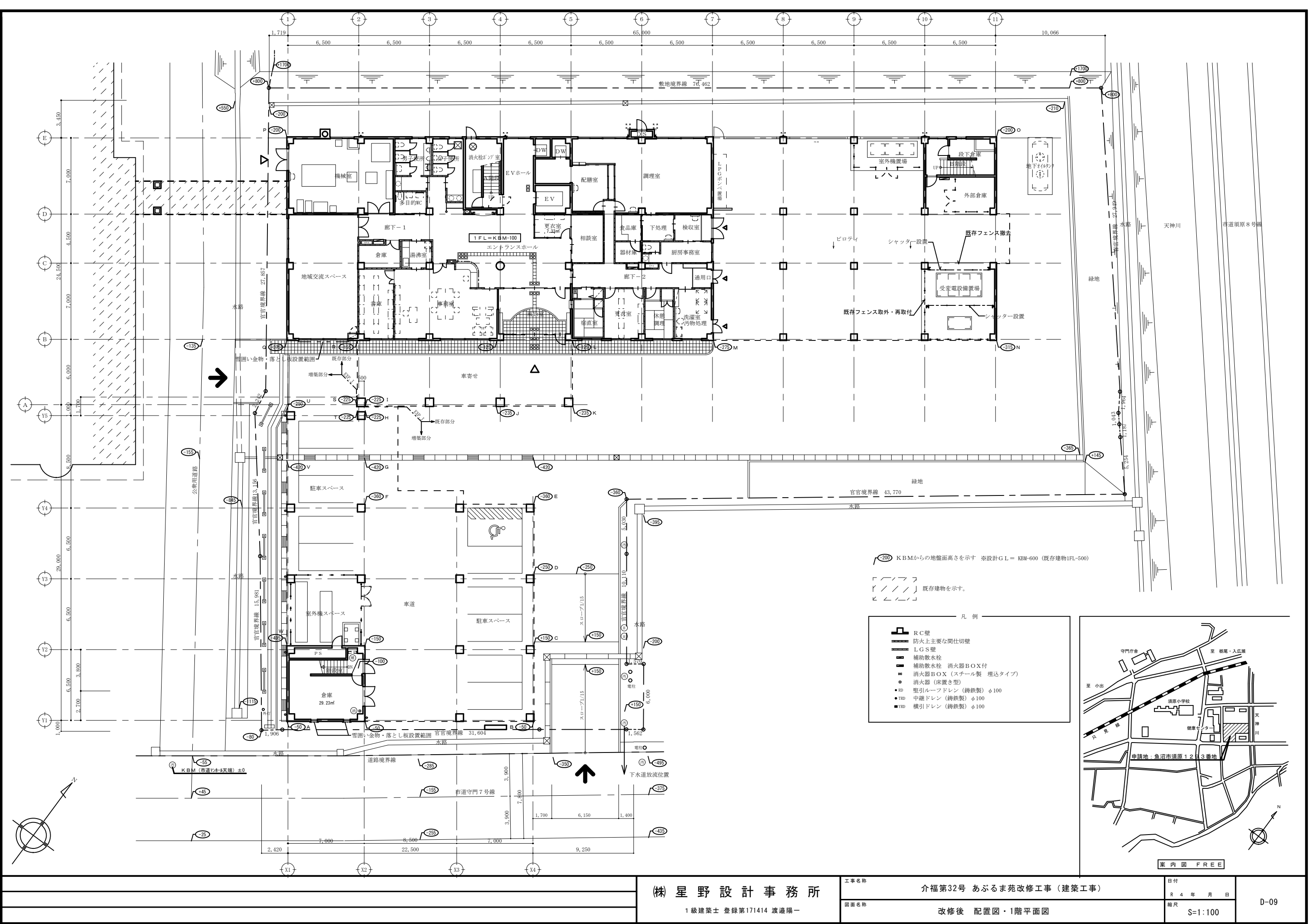
図面名称 現況 配置図・1階平面図

日付

R 4 年 3 月 日

縮尺 S=1:100

D-08



(株) 星野設計事務所

1級建築士 登録第171414 渡邊陽一

工事名称

介第32号 あぶるま苑改修工事（建築工事）

図面名称

改修後 配置図・1階平面図

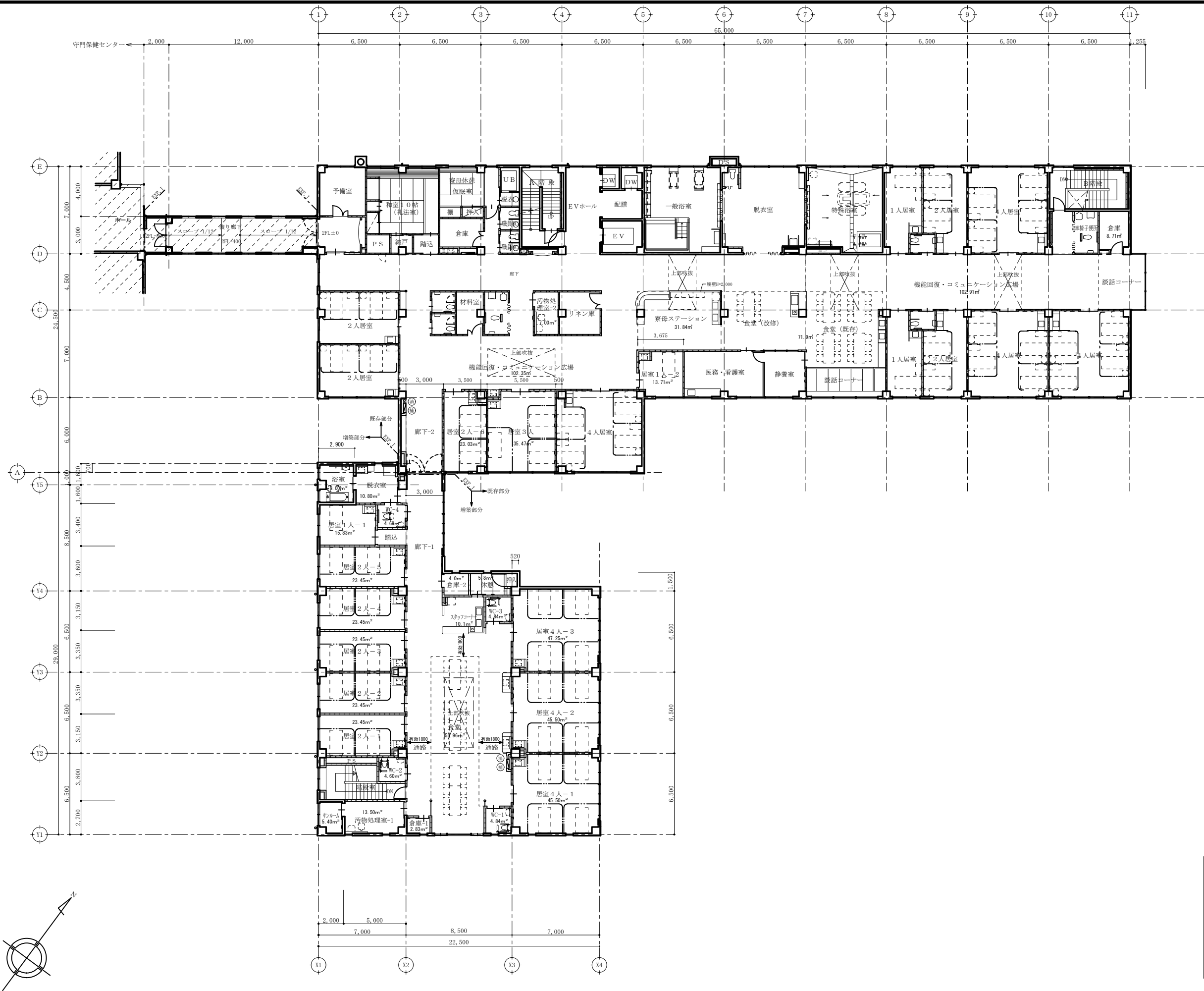
日付

R 4 年 月 日

縮尺

S=1:100

D-09



- 凡 例
- RC壁
  - 防火上主要な間仕切壁
  - LGS壁
  - 補助散水栓
  - 補助散水栓 消火器BOX付
  - 消火器BOX (スチール製 埋込タイプ)
  - 消火器 (床置き型)
  - R10 壁引ルーフドレン (鋳鉄製) φ100
  - T100 中継ドレン (鋳鉄製) φ100
  - Y100 横引ドレン (鋳鉄製) φ100

(株) 星 野 設 計 事 務 所

1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一

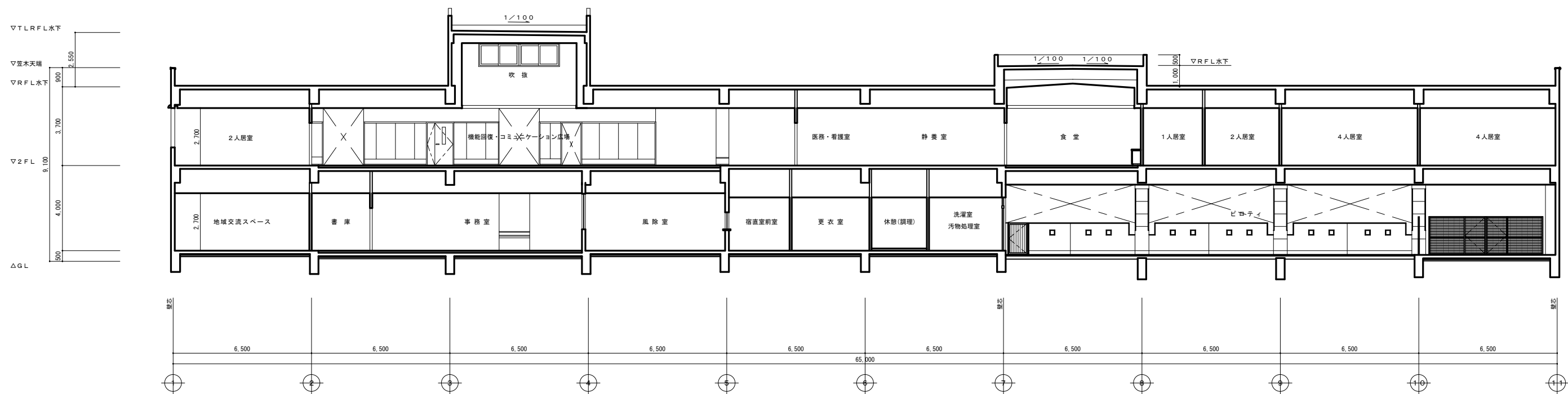
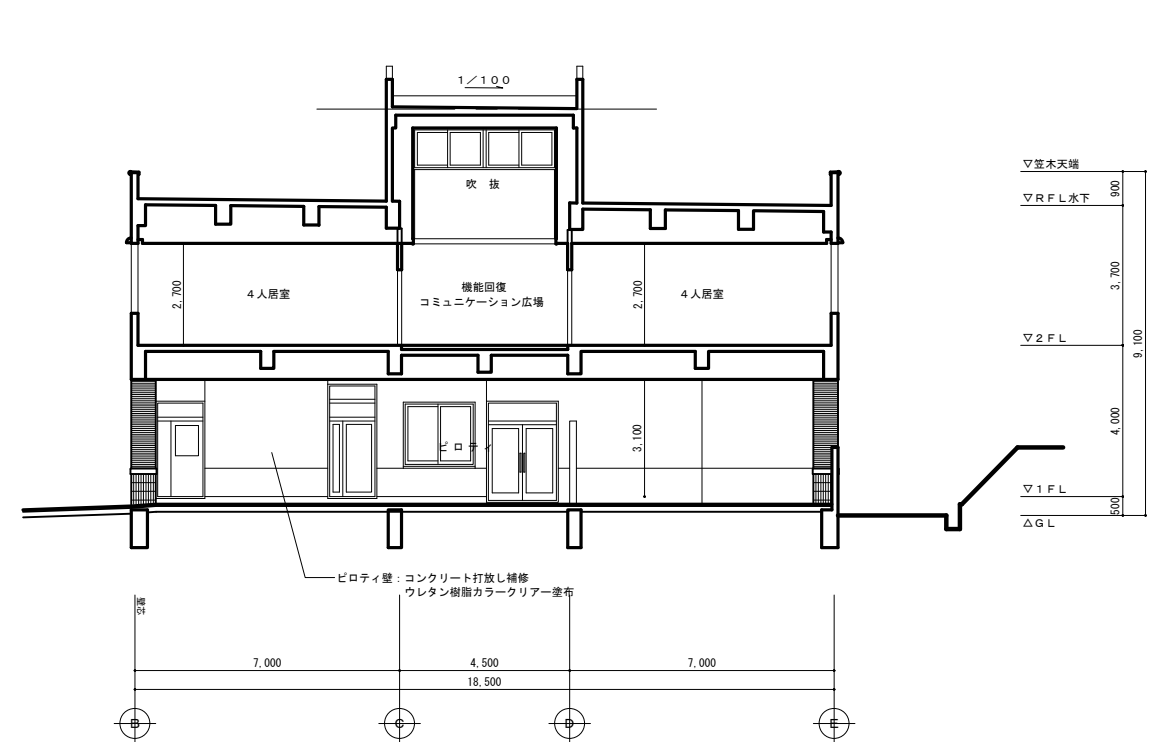
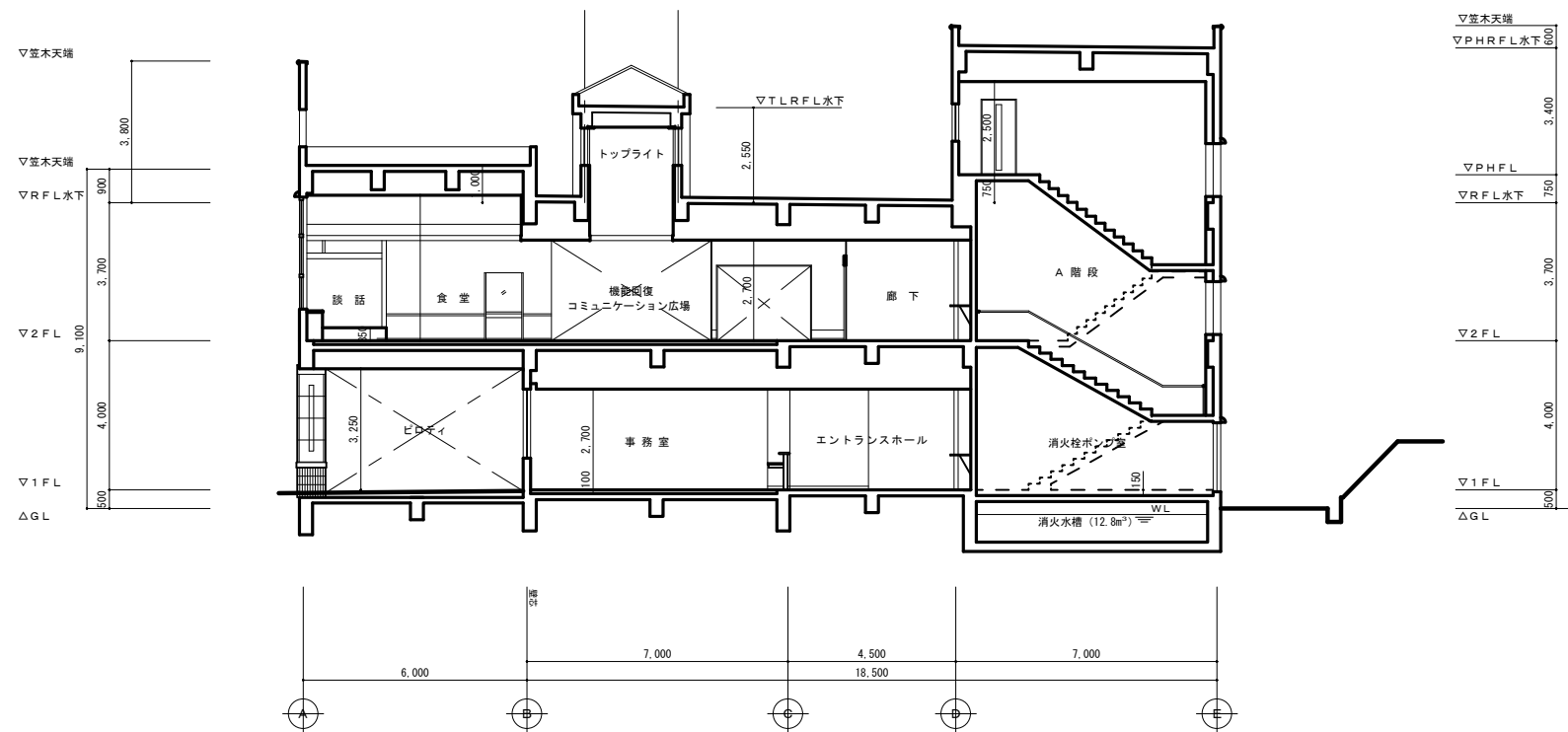
工 事 名 称 介 福 第 32 号 あ ぶ る ま 苑 改 修 工 事 ( 建 築 工 事 )

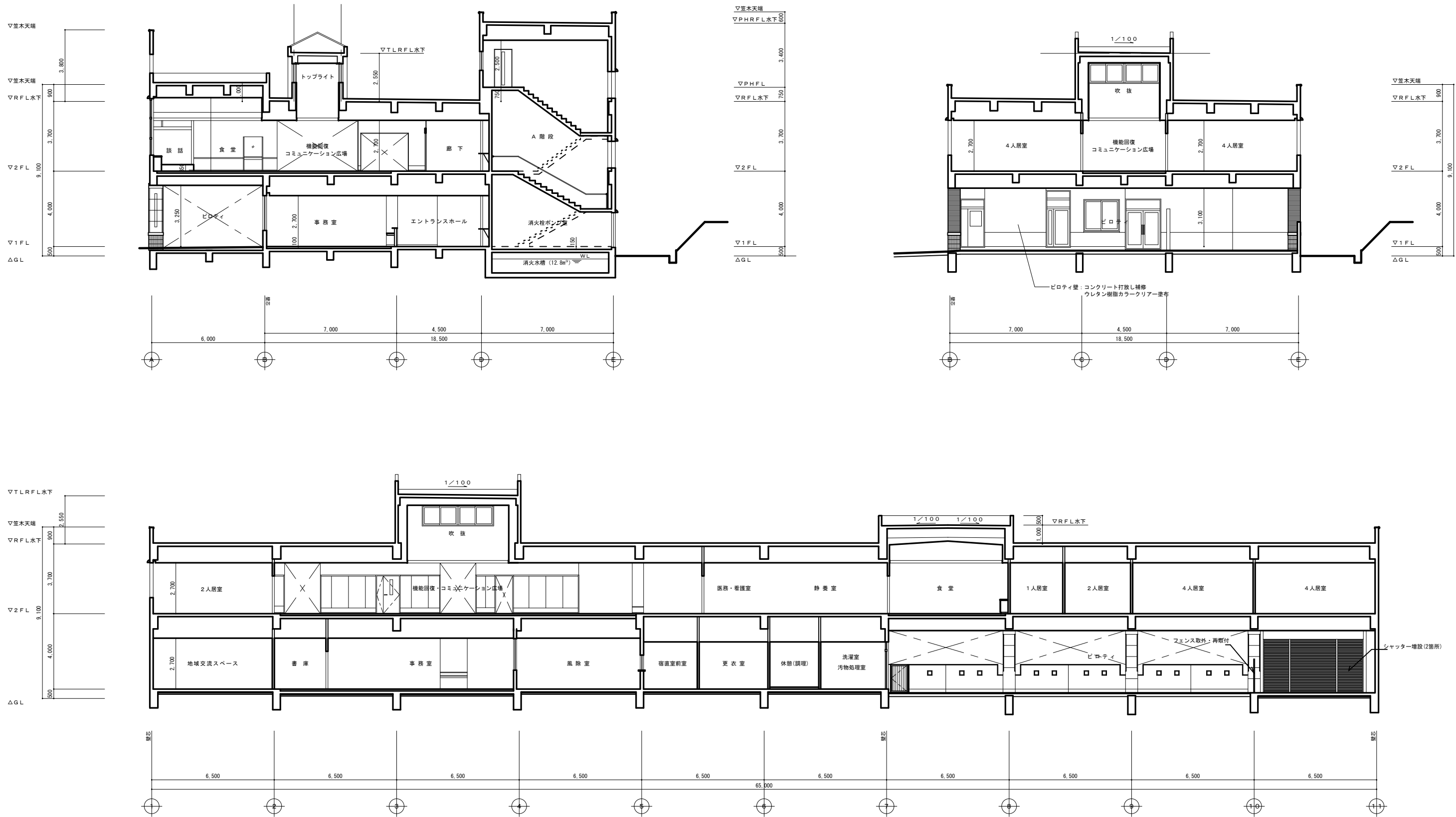
図 面 名 称 現 況 2 階 平 面 図

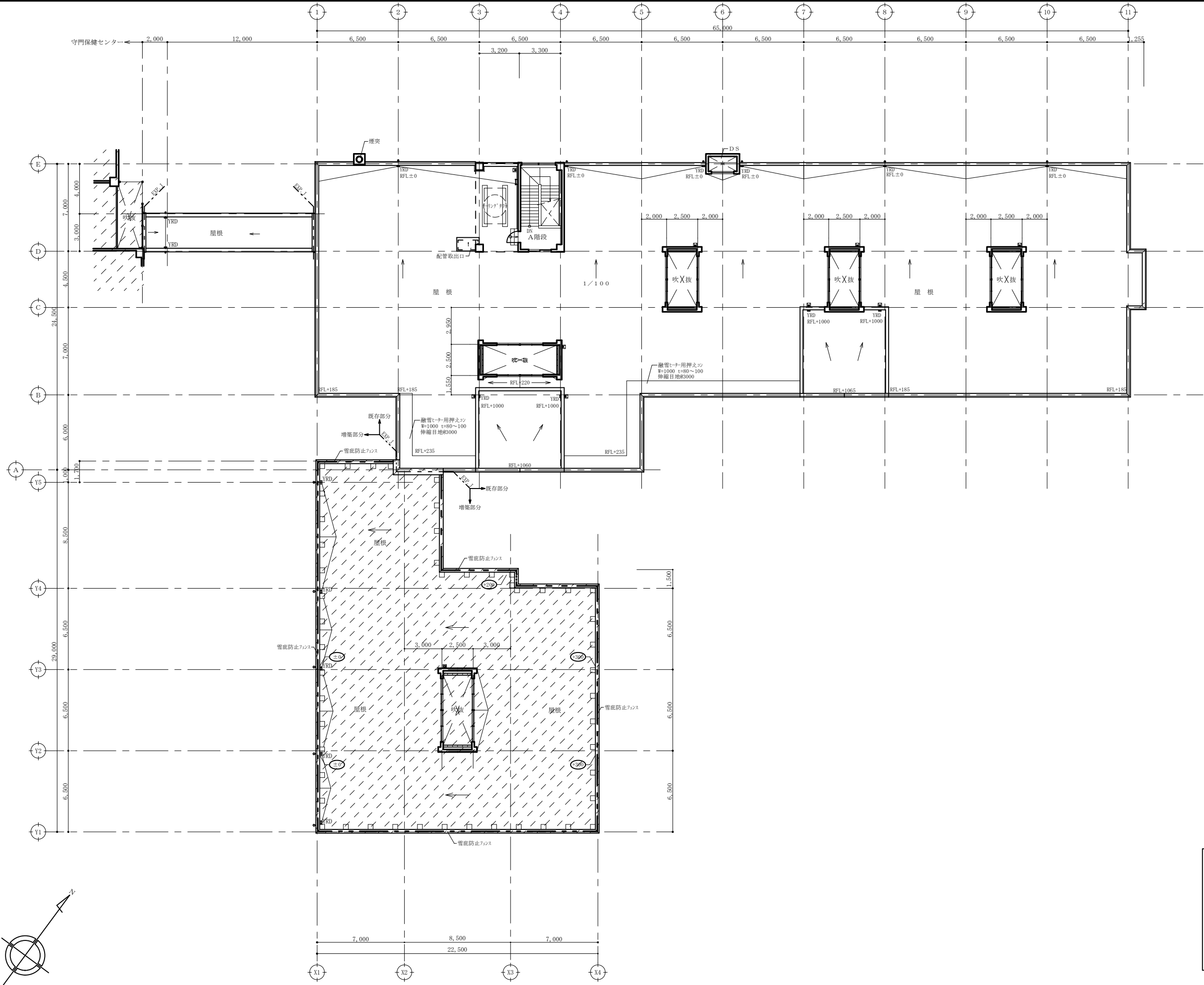
日 付 R 4 年 3 月 日

縮 尺 S=1:100

D-10







凡 例	
	R C 壁
	防火上主要な間仕切壁
	L G S 壁
	補助散水栓
	補助散水栓 消火器BOX付
	消火器BOX (スチール製 埋込タイプ)
	消火器 (床置き型)
	縦引ループドレン (鋳鉄製) φ100
	中継ドレン (鋳鉄製) φ100
	横引ドレン (鋳鉄製) φ100

(株) 星 野 設 計 事 務 所

1級建築士 登録第171414 渡邊陽一

工事名称 介福第32号 あぶるま苑改修工事 (建築工事)

図面名称 現況 塔屋・屋根平面図

日付 R 4 年 3 月 日

縮尺 S=1:100

D-13



凡 例	
	R C 壁
	防火上主要な間仕切壁
	L G S 壁
	補助散水栓
	補助散水栓 消火器 B O X 付
	消火器 B O X (スチール製 埋込タイプ)
	消火器 (床置き型)
	堅引ルーフドレン (鋳鉄製) φ 100
	中継ドレン (鋳鉄製) φ 100
	横引ドレン (鋳鉄製) φ 100

(株) 星 野 設 計 事 務 所

1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一

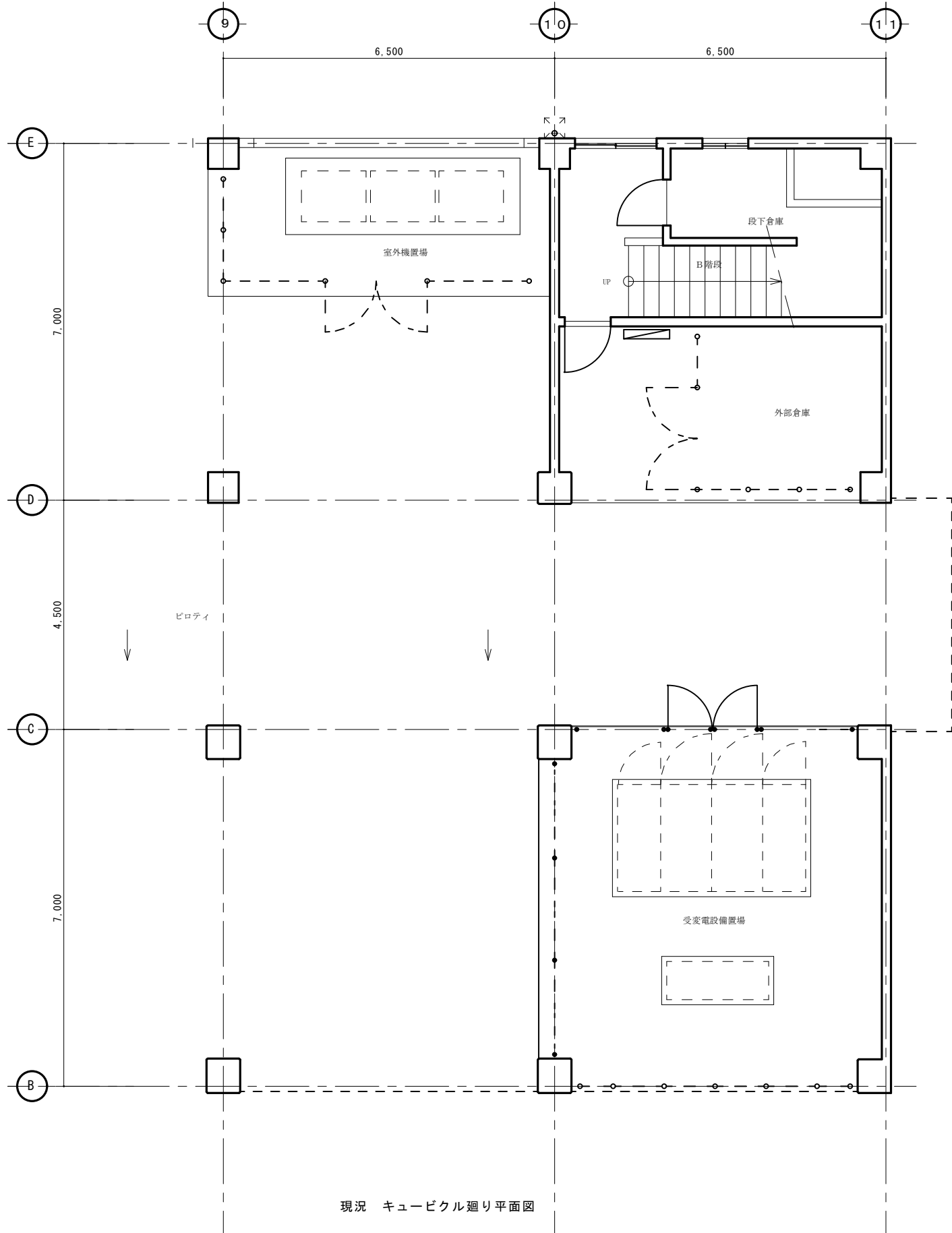
工 事 名 称 介 福 第 32 号 あ ぶ る ま 苑 改 修 工 事 ( 建 築 工 事 )

図 面 名 称 改 修 後 塔 屋 ・ 屋 根 平 面 図

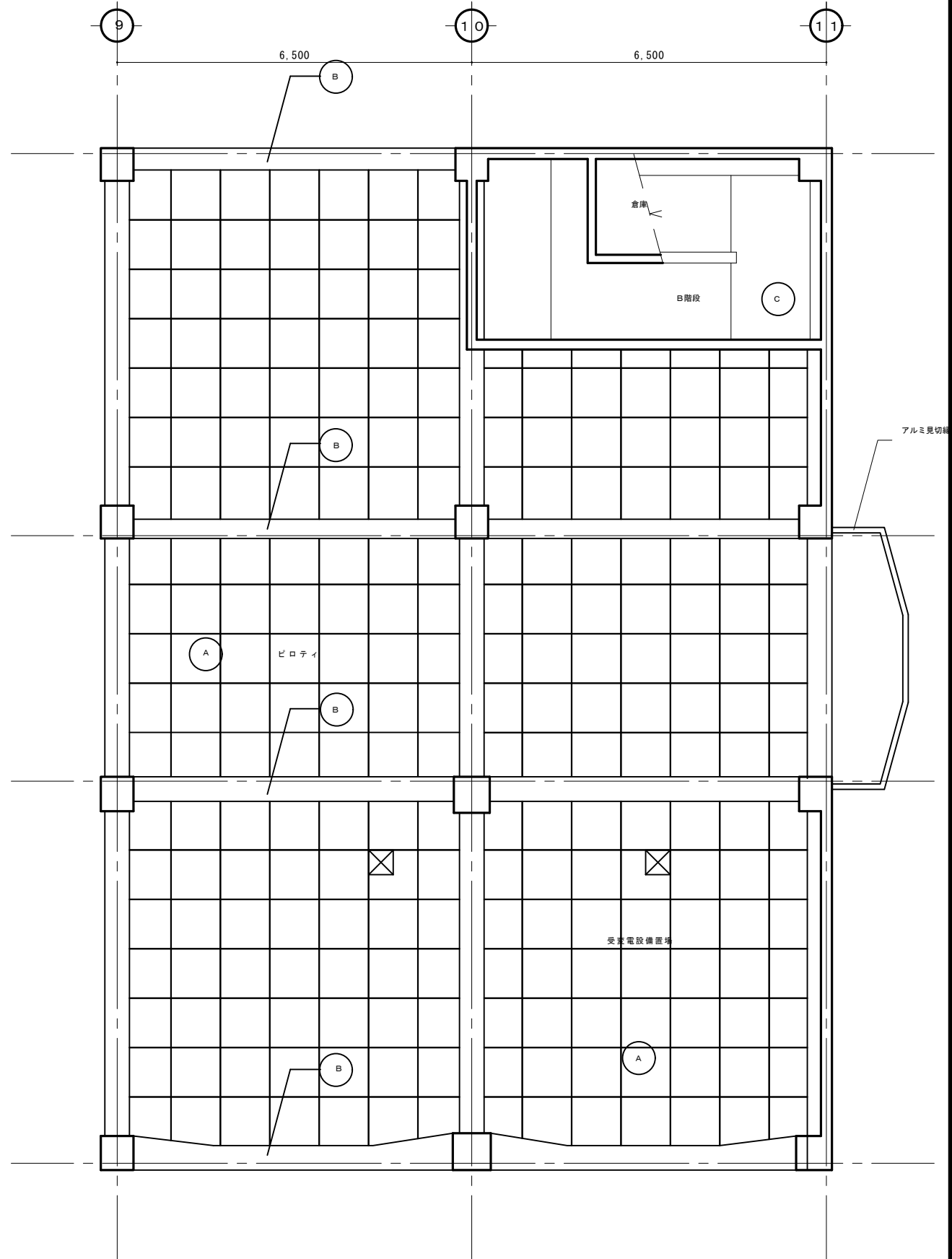
日 付 R 4 年 3 月 日

縮 尺 S=1:100

D-14



現況 キュービクル廻り平面図

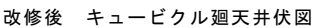
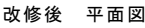


現況 キュービクル廻り天井伏図

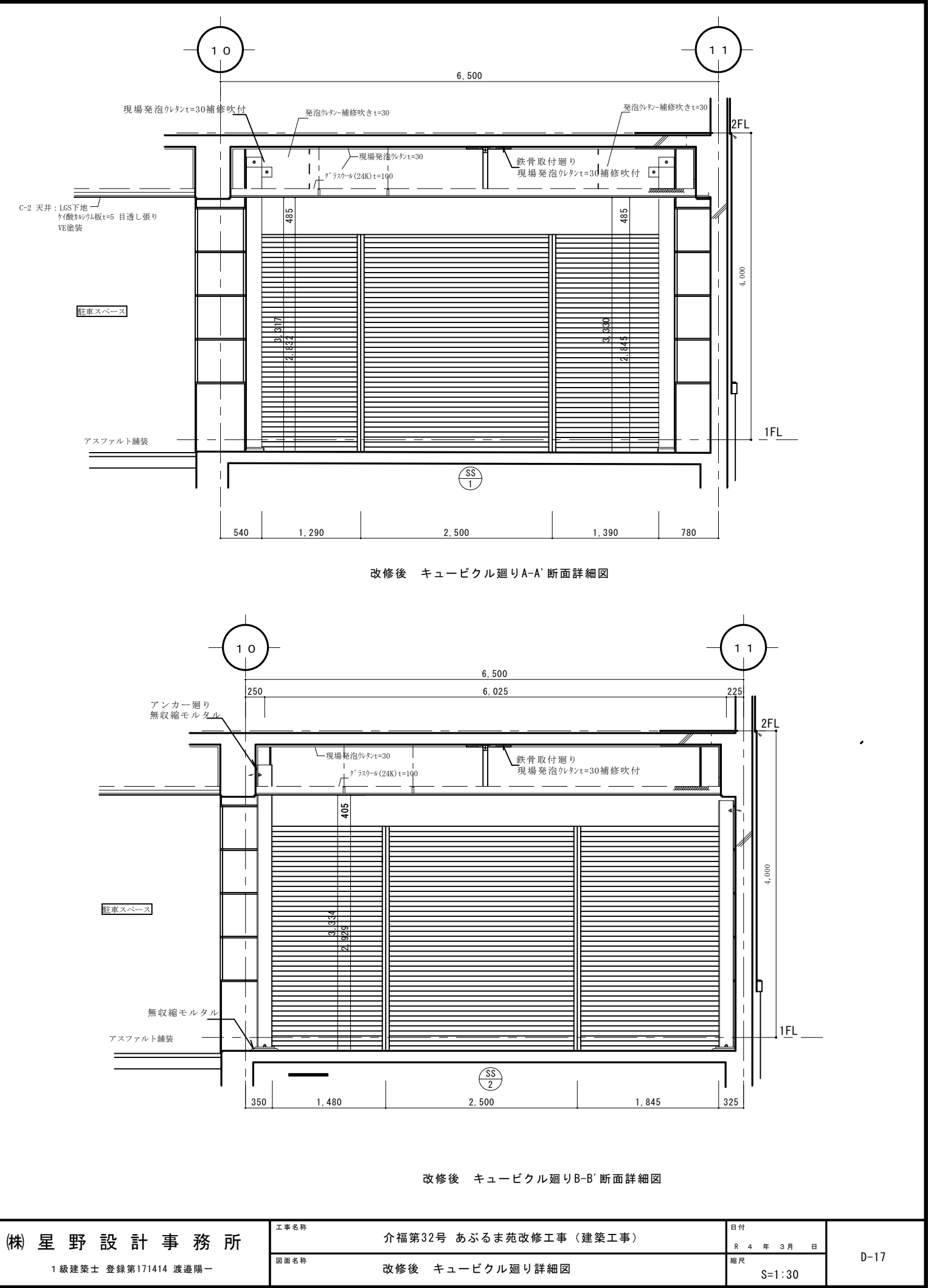
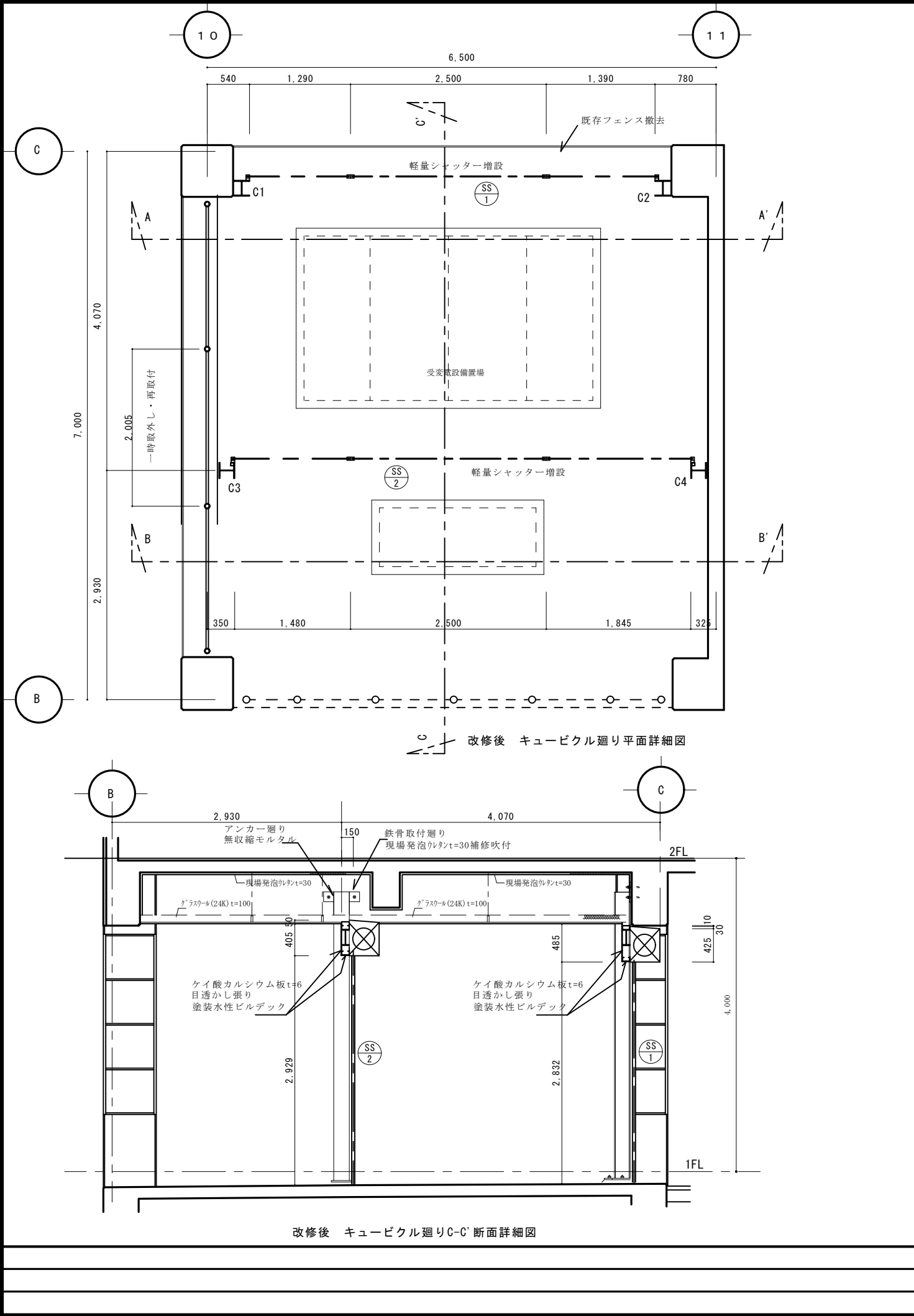
凡 例

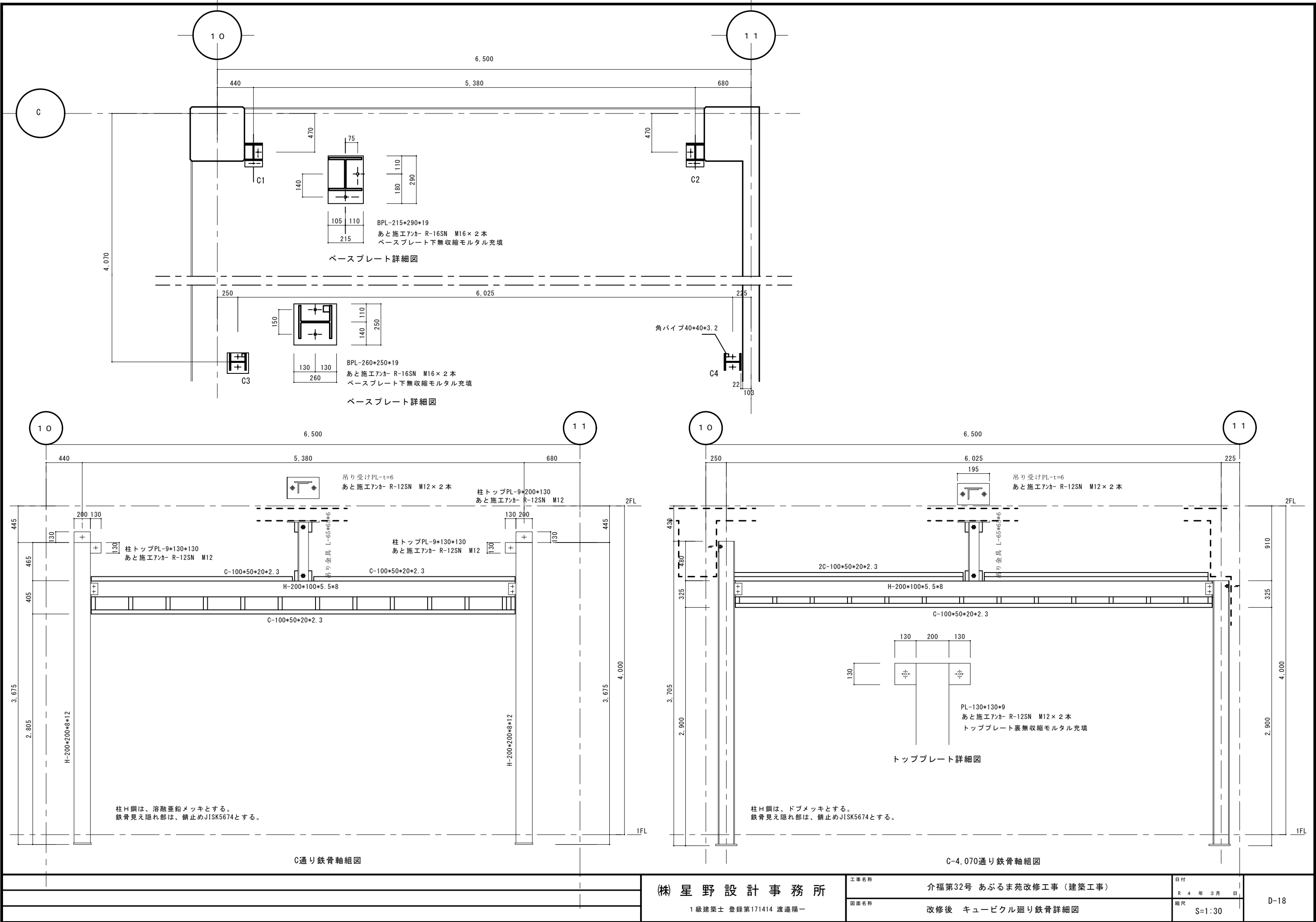
記 号	仕 上
Ⓐ	LGS フレキシブルボード t=5 900×900 目透かし張 VP塗装
Ⓑ	コンクリート打放し補修 ウレタン樹脂カラーリヤー塗布
ⓧ	既存天井点検口450角





	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一	工事名称	介福第32号 あぶるま苑改修工事（建築工事）	日付	R 4 年 3 月 日 D-16
		図面名称	改修後 キュービクル廻り平面図、天井伏図	縮尺	
				S=1:50	





(株) 星 野 設 計 事 務 所

1級建築士 登録第171414 渡邊陽一

工事名称 介福第32号 あぶるま苑改修工事（建築工事）

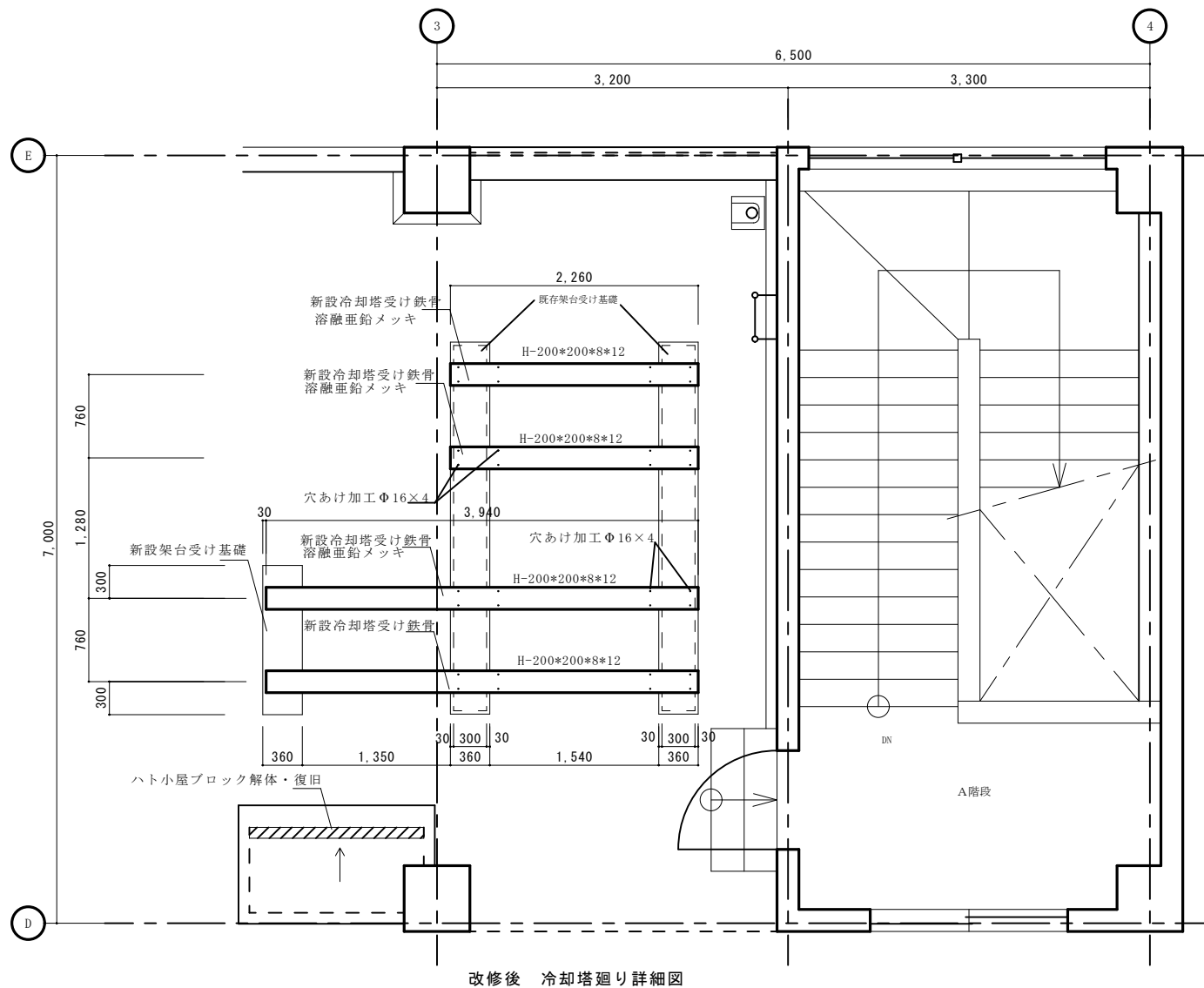
図面名称 改修後 キュービクル廻り鉄骨詳細図

日付

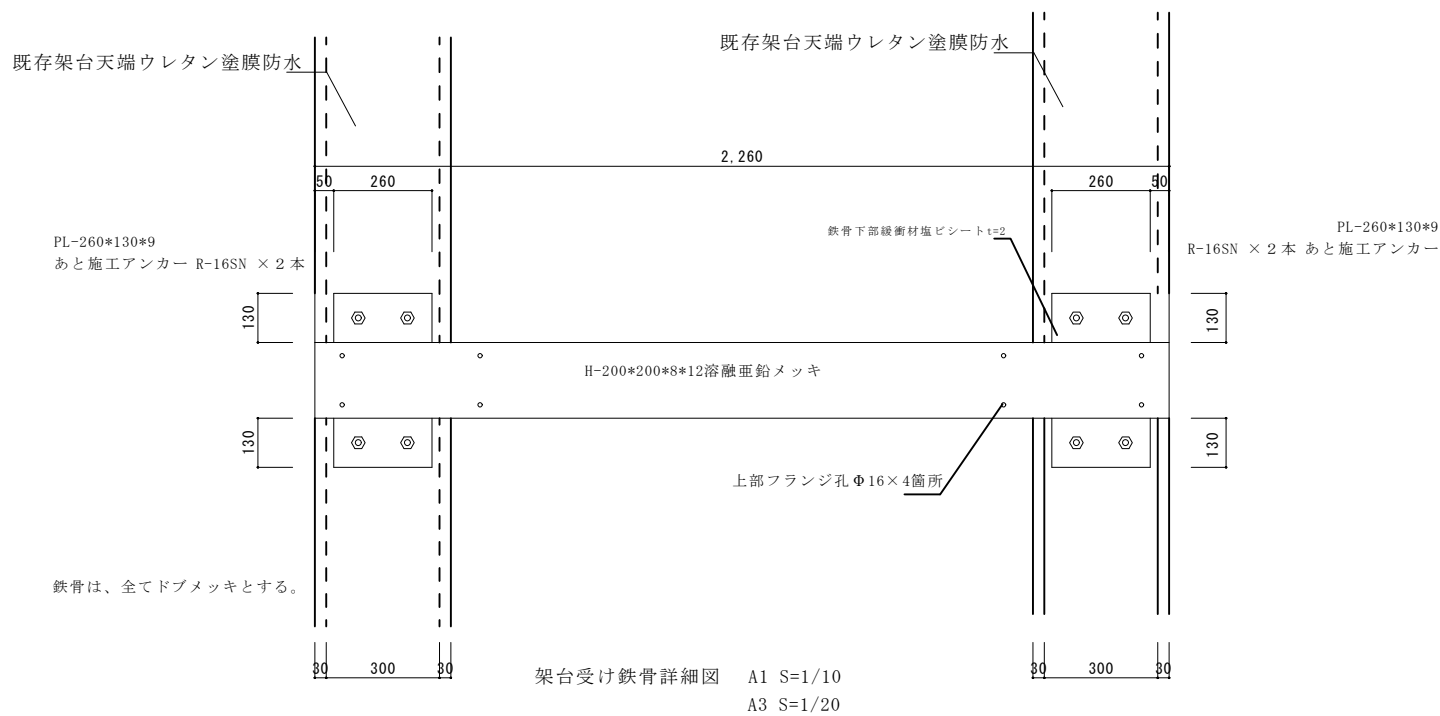
R 4 年 3 月 日

縮尺 S=1:30

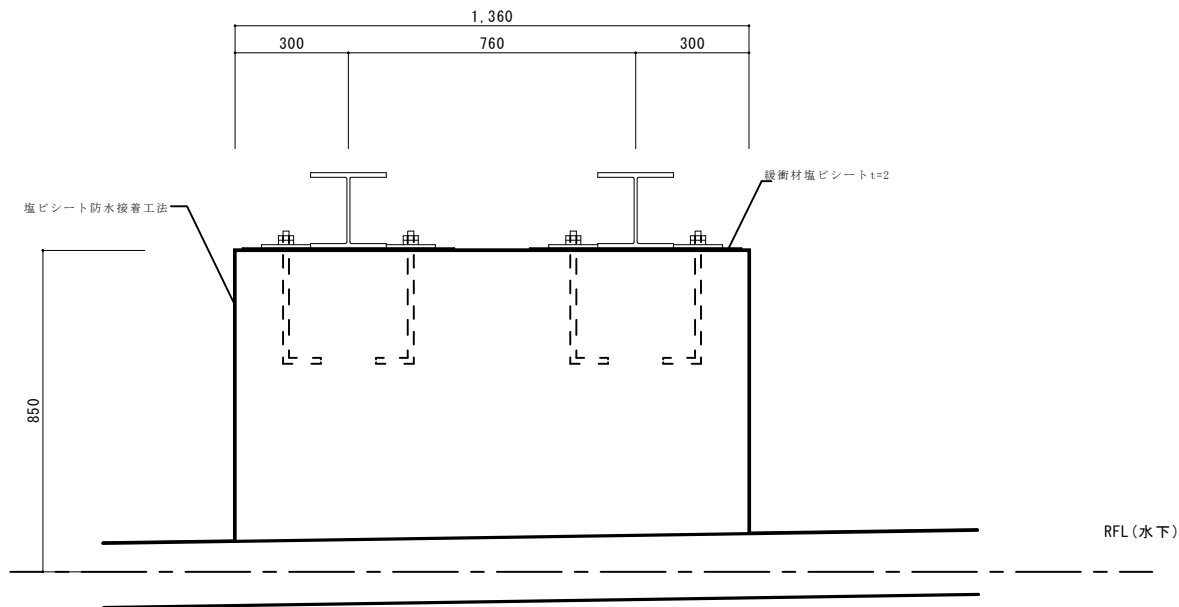
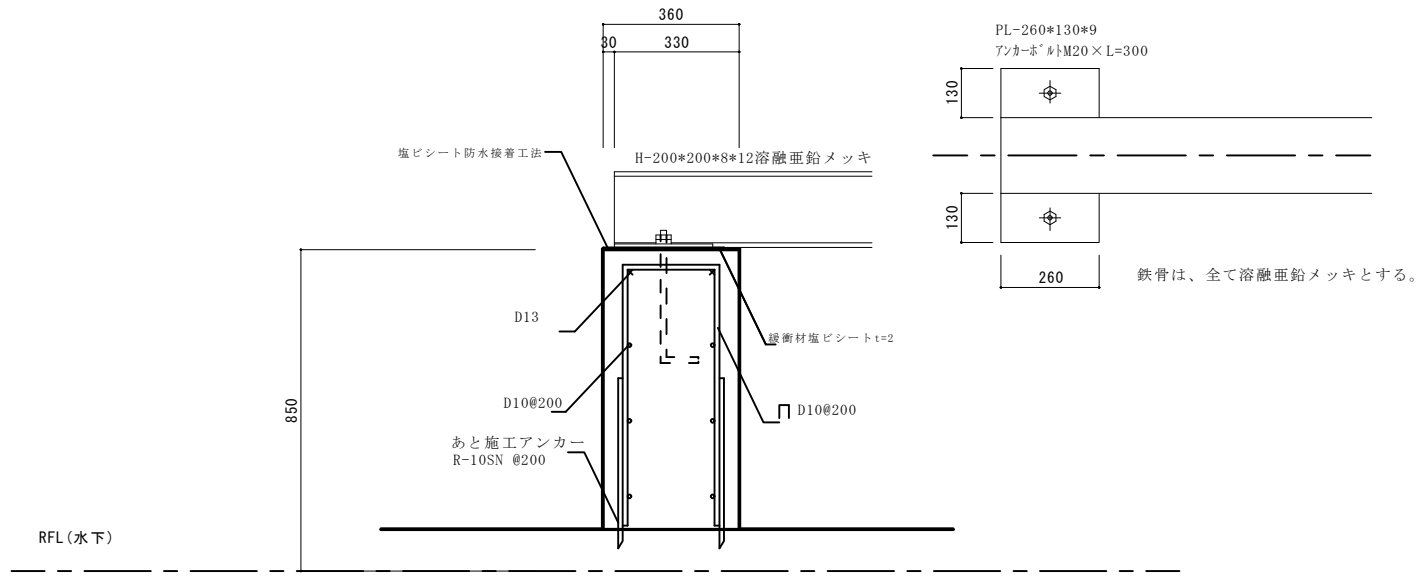
D-18



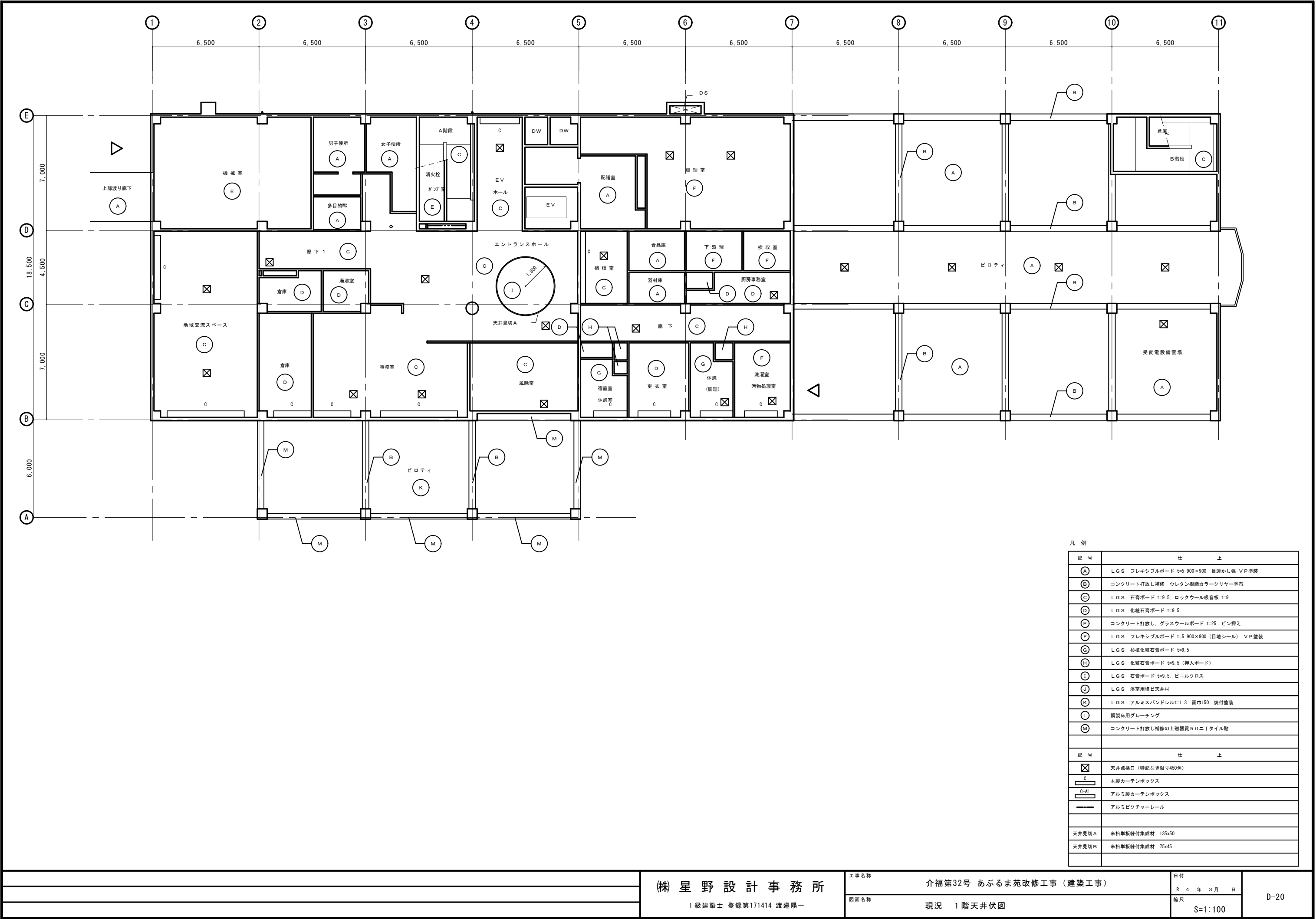
改修後 冷却塔廻り詳細図



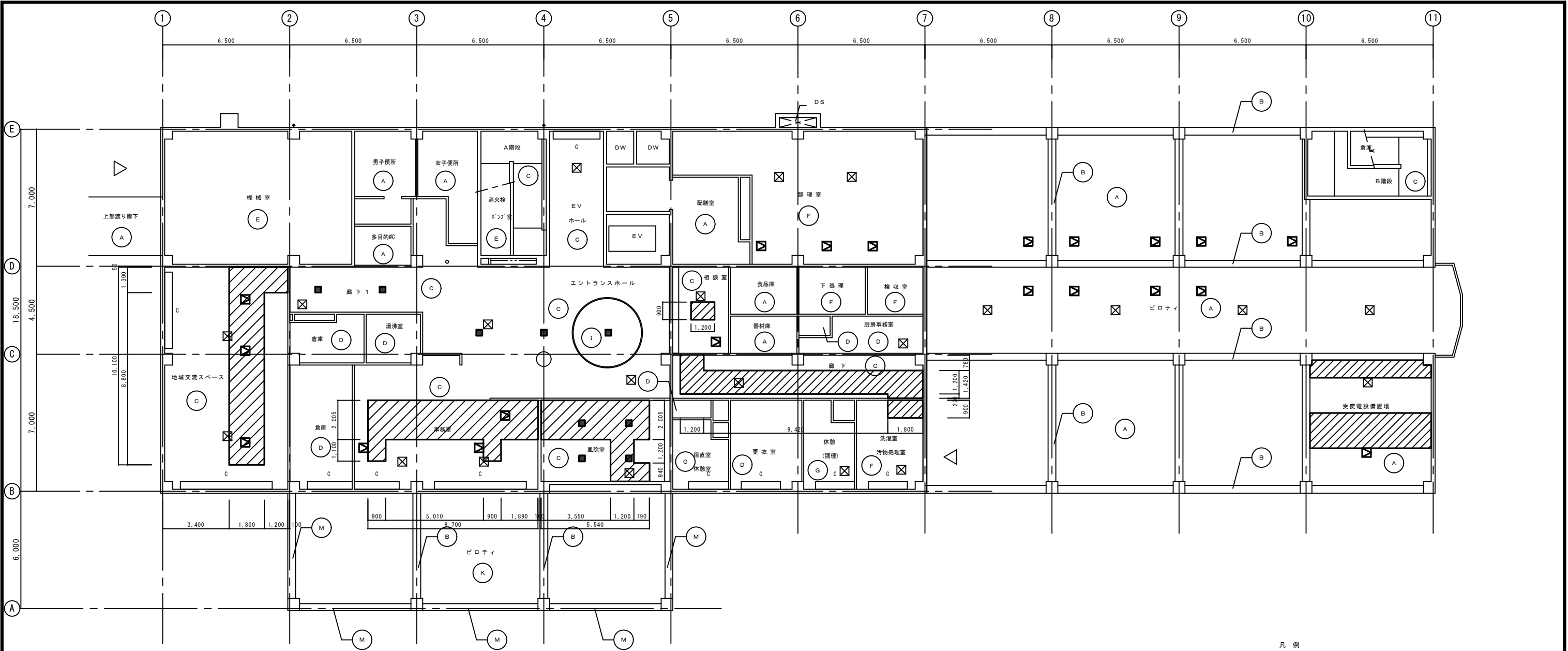
架台受け鉄骨詳細図 A1 S=1/10  
A3 S=1/20



新設架台受け基礎詳細図 A1 S=1/10  
A3 S=1/20



凡 例	
記 号	仕 上
(A)	L G S フレキシブルボード t=5 900×900 目透かし張 V P塗装
(B)	コンクリート打放し補修 ウレタン樹脂カラークリアー塗布
(C)	L G S 石膏ボード t=9.5, ロックウール吸音板 t=9
(D)	L G S 化粧石膏ボード t=9.5
(E)	コンクリート打放し, グラスウールボード t=25 ピン押え
(F)	L G S フレキシブルボード t=5 900×900 (目地シール) V P塗装
(G)	L G S 杉板化粧石膏ボード t=9.5
(H)	L G S 化粧石膏ボード t=9.5 (押入ボード)
(I)	L G S 石膏ボード t=9.5, ビニルクロス
(J)	L G S 浴室用塩ビ天井材
(K)	L G S アルミスバンドレールt=1.3 面巾150 焼付塗装
(L)	鋼製床用グレーチング
(M)	コンクリート打放し補修の上磁器質50ニタイル貼
記 号	仕 上
⊠	天井点検口 (特記なき限り450角)
C	木製カーテンボックス
C-AL	アルミ製カーテンボックス
—	アルミビクチャーレール
天井見切A	米松単板縁付集成材 135x50
天井見切B	米松単板縁付集成材 75x45



凡 例	
記 号	仕 上
(A)	LGS フレキシブルボード t=5 900×900 目透かし張 VP塗装
(B)	コンクリート打放し補修 ウレタン樹脂カラークリヤー塗布
(C)	LGS 石膏ボード t=9.5, ロックウール吸音板 t=9
(D)	LGS 化粧石膏ボード t=9.5
(E)	コンクリート打放し, グラスウールボード t=25 ビン押え
(F)	LGS フレキシブルボード t=5 900×900 (目地シール) VP塗装
(G)	LGS 杉板化粧石膏ボード t=9.5
(H)	LGS 化粧石膏ボード t=9.5 (押入ボード)
(I)	LGS 石膏ボード t=9.5, ビニルクロス
(J)	LGS 浴室用塩ビ天井材
(K)	LGS アルミスバンドレールt=1.3 面巾150 焼付塗装
(L)	鋼製床用グレーチング
(M)	コンクリート打放し補修の上磁器質50ニドタイル貼
記 号	仕 上
☒	天井点検口 (特記なき限り450角)
C	木製カーテンボックス
C-AL	アルミ製カーテンボックス
—	アルミビクチャーレール
☒	改修増設天井点検口 (特記なき限り450角) 増設20箇所 取外し再取付5箇所
▨	天井解体復旧箇所
■	既存天井開口孔拡大(250角→275角) 9箇所